

令和5年度

菰野町教育委員会

事務事業点検及び評価報告書

令和6年7月

菰野町教育委員会

## 目 次

I	令和5年度点検及び評価実施方針	1
	1 趣旨	
	2 点検及び評価の対象	
	3 点検及び評価の方法	
II	教育委員会の運営状況	
	1 教育委員会	2
	2 令和5年度菟野町教育方針	4
	3 事務局体制	4
III	事務事業の執行状況	
	1 学校教育	
	(1) 確かな学力を育む教育の推進	5
	①主体的・対話的で深い学びの実現	5
	②特別支援教育の充実 ③グローバル教育の推進	6
	④ICTを活用した授業の充実 ⑤キャリア教育の推進	7
	⑥幼児教育の充実	7
	(2) 豊かな人間性を育む教育の推進	8
	①人権教育・道徳教育の充実 ②安心して学べる学校づくり	8
	③読書活動の充実	9
	④郷土教育の推進	10
	(3) 健やかな体を育む教育の推進	10
	①健康教育の充実 ②体力の向上	10
	③食育の推進	11
	(4) 信頼される学校づくり	11
	①地域とともにある学校づくりの推進	11
	②教職員の資質向上とコンプライアンスの推進	11
	③学校における働き方改革の推進 ④子どもたちの安全・安心の確保	12
	2 社会教育	
	(5) 地域全体で取り組む家庭教育と青少年健全育成の充実	16
	①家庭の教育力の向上 ②地域における青少年活動の推進	16
	③現代社会を生き抜く青少年の健全育成	16
	(6) 活力ある地域社会の構築に向けた生涯学習の推進	16
	①生涯学習推進体制の確立	16
	○生涯学習推進事業 ・よもやま歴史教室 ・かもしかライフカレッジ	
	○教育委員会主催人権教育事業 ○教育委員会主催文化事業	
	○教育委員会支援文化事業 ○国際交流事業	
	②公民館機能の充実 ○公民館教室及び講座	19
	③図書館サービスの充実	20
	ア)図書館事業 イ)催事室利用状況 ウ)ギャラリー利用状況	
	エ)令和5年度図書館貸出等の状況 オ)研修等の受け入れ実績	
IV	評価者の意見	28

# I 令和5年度点検及び評価実施方針

## 1 趣 旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくため、菰野町教育委員会の事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「点検及び評価」）を実施する。

## 2 点検及び評価の対象

令和5年度の教育委員会の運営状況及び事務事業の執行状況のうち、令和5年4月1日から令和6年3月31日までに実施したものとする。

## 3 点検及び評価の方法

### (1) 自己点検評価

菰野町総合計画を踏まえた菰野町教育大綱、菰野町教育振興基本計画及び令和5年度菰野町教育方針に基づき、令和5年度の教育委員会の運営状況、事務事業の執行状況について点検及び評価を行う。

### (2) 学識経験者等の知見の活用

菰野町の教育に関して知見を有する次に掲げる者から、教育委員会の自己点検評価結果に対する意見を聴き、本書に記載する。

(知見者)

氏 名	職業（前職含む）
小 林 浩 司	建設会社社長
伊 達 恭 子	元小学校長

### (3) 議会への報告

点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に報告するとともに町ホームページへの掲載等により公表する。

## II 教育委員会の運営状況

### 1 教育委員会

教育委員会では、教育長と4名の教育委員により委員会を開催し、規則等の制定や生徒指導事案など重要な案件を審議した。また、研修会への参加や、視察研修を実施するなど、委員の資質向上に努めるとともに、学校訪問を実施し、学校運営の状況などについて現地で説明を受け、指導及び助言を行った。更に総合教育会議において、教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育の振興を図るため重点的に講ずべき施策についての協議を行った。

#### (1) 委員構成

役職名	氏名	住所	任期
教育長	北口 幸弘	菰野	平成31年4月1日就任 令和7年9月30日まで
教育長職務代理者 及び委員	石倉 雅孔	大羽根園	平成30年10月1日就任 令和8年9月30日まで
教育長職務代理者 及び委員	水谷 裕康	竹成	令和2年10月1日就任 令和6年9月30日まで
委員	岡島 由香里	田光	平成21年10月1日就任 令和7年9月30日まで
委員	近藤 保則	池底	平成28年10月1日就任 令和5年9月30日まで
委員	佐藤 久美	吉澤	令和5年10月1日就任 令和9年9月30日まで

※教育長職務代理者は令和5年10月1日から、石倉雅孔委員から水谷裕康委員に交代しています。

#### (2) 教育委員会の開催状況

開催数： 定例会 11回

#### (3) 委員研修状況

実施日	研修先	研修場所	研修内容
11月7日	津市	三重県総合文化センター	三重の教育談義 「自ら学び行動する自律型の組織づくり とリーダーシップのあり方」
12月22日	亀山市	亀山市立図書館	電子図書館の運用方法等について

#### (4) 学校訪問

- ・(前期) 5月31日 千種小、菰野中、鶴川原小、菰野小
- ・(後期) 11月15日 竹永小、八風中、朝上小

(5) 総合教育会議

- ① (第1回) 6月26日
  - 教職員の働き方改革について
  - 児童生徒の問題行動等の現状について
  
- ② (第2回) 2月22日
  - 各教育委員より
  - 安全な登下校について
  - 災害時の避難所と教育との関係について

(6) 委員会の主な審議内容

- ① 第4回教育委員会 (R5. 4. 27)
  - 令和5年度菰野町奨学金貸付について
  - 令和5年度菰野町学校運営協議会委員委嘱について
- ② 第5回教育委員会 (R5. 5. 31)
  - 学校給食基本構想(案)のパブリックコメント結果について
  - 学校給食公会計化事業について
- ③ 第6回教育委員会 (R5. 6. 26)
  - 菰野町議会第2回定例会の報告について
  - 特定保育・保育施設及び特定地域型保育事業等の利用者負担に関する規則の一部を改正する規則(案)について
- ④ 第7回教育委員会 (R5. 7. 25)
  - 一般会計補正予算の要求について
  - 令和6年度使用小学校用教科用図書の選定にかかる採択協議会結果について
  - 菰野町一時預かり(幼稚園型)事業実施要綱の一部改正(案)について
- ⑤ 第8回教育委員会 (R5. 9. 15)
  - 菰野町電子図書館導入運営業務公募型ポロポーザル審査委員会設置要領について
  - 菰野町電子図書館導入運営業務公募型プロポーザル告示について
  - 菰野町立幼稚園における独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金の徴収に関する規則(案)について
- ⑥ 第9回教育委員会 (R5. 10. 2)
  - 役員改選等について
  - 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業等の利用者負担に関する規則の一部改正について
- ⑦ 第10回教育委員会 (R5. 11. 15)
  - 視察研修について
- ⑧ 第11回教育委員会 (R5. 12. 22)
  - 令和5年菰野町議会第4回定例会の報告について
  - 菰野町部活動地域移行推進協議会設置要綱(案)について
  - 菰野町図書館管理運営規則の一部を改正する規則(案)について
  - 菰野町図書館電子図書館サービス要領(案)について
  - 菰野町一時預かり(幼稚園型)事業実施要綱の一部を改正する告示(案)について
  - 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業等の利用者負担に関する規則の一部を改正する規則

- ⑨ 第1回教育委員会（R6. 1.15）
  - 菰野町学校給食費に関する要綱（案）について
  - 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業等の利用者負担に関する規則の一部を改正する規則
  - 菰野町立小中学校卒業式告辞について
- ⑩ 第2回教育委員会（R6. 2.22）
  - 令和6年度菰野町学校教育指導方針について
  - 校長・教頭等異動内申について
  - 教諭等異動内申について
  - 令和6年度「菰野町ふれあい教室」運営要項について
  - 令和6年度いじめ不登校対策事業について
  - 菰野町特別支援教育巡回コーディネーター配置要項について
- ⑪ 第3回教育委員会（R6. 3.27）
  - 菰野町の教育職員が地域クラブ活動に従事する場合の兼職兼業の許可に関する要綱（案）について

## 2 令和5年度菰野町教育方針

### (1) 学校教育

「新しい時代をたくましく生きる子どもの育成」

#### ・小中学校【資料2】

教育課題を的確にとらえ、子どもを主体にした創意ある教育課程の編成に努め、家庭、地域社会との確かな連携のもと魅力ある教育活動の推進を図る。

#### ・幼稚園

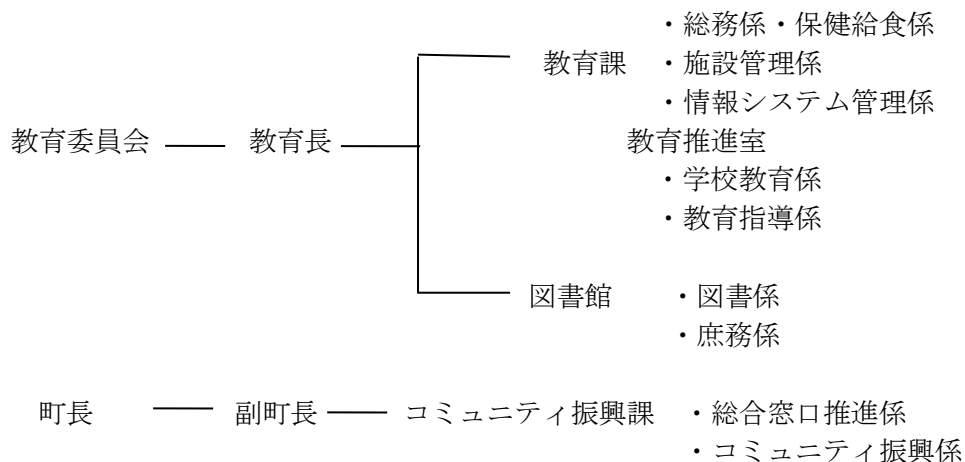
自発的な活動と遊びを通して、総合的な指導により人間形成の基礎を培う。遊びを中心とした生活を通して、生きる力の基礎となる心情、意欲、態度が身につくようにする。

### (2) 社会教育

「生涯学習の理念に基づいて幼児期から高齢者に至るすべての住民に少しでも多くの学習の場と機会を確保しながら健康で心豊かな人づくり、地域に根ざした町づくりの実現に努める。」

## 3 事務局体制

### (1) 事務局組織【資料1・9】



## (2) 職員数の状況（常勤職員）

R5.4現在

課名	課長	室長 企画監	館長 (心得)	課長 室長 補佐	係長 副主管	係	会計 年度 任用	その他 (ALT)	合計
教育課	1	1		3	2	4	3	2	16名
図書館			1			2	9		12名
コミュニティ 振興課	1	1			3	3	1		9名

## (3) 外部職員数【資料4】

## (4) 教育予算の推移（決算）

\*学校教育には教育総務費、奨学金、幼稚園費を含む

\*R5から社会教育には文化関係費、スポーツ関係費を含まない

(単位：千円)

区分	R1	R2	R3	R4	R5
学校教育	1,352,084	1,058,235	1,188,980	1,111,173	1,129,526
社会教育	234,730	259,207	197,469	192,246	29,078
図書館	76,112	81,289	84,088	77,858	88,740
合計	1,662,926	1,398,731	1,470,537	1,381,277	1,247,344
町一般会計	12,517,061	17,645,081	15,021,599	14,105,267	14,558,976
教育費割合%	13.3%	7.9%	9.8%	9.8%	8.6%

## III 事務事業の執行状況

## 1 学校教育

## (1) 確かな学力を育む教育の推進

## ① 主体的・対話的で深い学びの実現

きめ細かな個に応じた学習指導の充実を図るため、非常勤講師を小学校3年生～6年生の算数科と、中学校2年生と3年生の数学科及び英語科、その他学力向上のために必要と認められる教科について町単独で各学校に配置して少人数指導等を行った。

小学校6年生と中学校3年生を対象に「令和5年度全国学力・学習状況調査」が実施された。調査問題には、子どもたちに「どのような資質と能力を身に付けなければならないのか」、そのために「どのような授業を行えばよいのか」を示すメッセージとなる問題が出題されている。各校は、調査問題の分析、調査結果からみられた課題（子どもたちがどこでつまづいているのか）の分析を実施し、学習指導の改善及び充実の取組を推進した。

小学校4年生と5年生、中学校1年生と2年生を対象に「みえスタディ・チェック」を実施し、各校は、調査結果からみられた課題の分析を行い、学習指導の改善と学習内容の確実な理解と定着を図る取組を進めた。また、三重郡内の小中学校では標準学力検査（CRT検査）を小学校4年生と中学校1年生を対象に継続的に実施しており、検査結果を三重郡教育振興会学校教育部会で分析し、児童生徒の学力の定着状況を把

握し、各校の指導方法の工夫及び改善につなげた。

教職員の授業力向上については、学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の取組が各校において推進されるよう、授業づくりのポイントをまとめたリーフレット「菰野町授業づくりマスター」を全教職員に対して配付し、浸透を図っている。令和5年度は「この1時間の授業の中で何ができるようになればよいのか」を「めあて」の形で示すことを徹底する指示を出し、児童生徒が「わかった」「できた」という実感が持てる授業改善の取組のさらなる推進を図った。

菰野町は「全国学力・学習状況調査」から国語科の学力状況に経年的な課題がみられるため、令和5年度は三重県教育委員会の支援を受けて、学習指導要領が示す資質や能力を育成する国語科の授業づくり研修を各小中学校で行うと共に、文部科学省の学力調査官を招いての授業改善研修を小中学校の国語科で実施した。さらに、竹永小学校と鶴川原小学校においては三重県教育委員会の「わかる授業推進事業」を受託し、担当課と連携しながら国語科、算数科における少人数指導を実施した。

## ② 特別支援教育の充実

特別な支援が必要な児童生徒について、各校で校内特別支援委員会を組織し、校内コーディネーターが中心となり、児童生徒への支援のあり方について組織的に検討した。令和4年度より、町内に2名配置している菰野町特別支援教育巡回コーディネーターの内、1名を会計年度任用職員として任用し、授業等に縛られない柔軟な運用のもと、各学校への助言を行った。対象児童生徒については、個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成したうえで適切な指導及び支援を行った。また、特別支援教育支援員24名を各学校の状況に応じて配置し、通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒への支援にあたってきた。さらに、子ども家庭課とも連携し、個別の指導や支援が必要と思われる児童生徒について、みえ発達障がい支援システムアドバイザー（支援センターあさけ）に助言を求めたり、アドバイザーが対象となる児童生徒へ直接対応したりすることで、学校での指導及び支援に活かしてきた。

菰野町立の小学校に在籍する発達障害のある児童の学習上または生活上の困難を改善及び克服するために、令和2年度に竹永小学校に通級指導教室「ほっとルームたいよう」を開設した。令和5年度はのべ15名の児童が「ほっとルームたいよう」での通級指導を受けた。また、通級指導に関して高い専門的知見や経験を有する者を通級指導教室アドバイザーとして任用し、通級指導担当教員への助言や援助を行い、発達障害のある児童への指導や支援の専門性の向上と通級指導体制の改善を図った。

特別支援学級在籍児童生徒への指導及び支援については、校内研修会等で全教職員が授業を参観し情報を共有したり、菰野町巡回コーディネーターが訪問し、指導及び支援のあり方について助言したりしてきた。また、33名の介助員を学校の状況に応じて配置し、特別支援学級に在籍する児童生徒への支援にあたってきた。

菰野町就学支援委員会では、対象となる園児、児童及び生徒の観察や聞き取りを行い、あわせて保護者の就学相談も行うことで、子どもや保護者のニーズに合ったよりよい就学支援を目指している。

## ③ グローバル教育の推進

小中学校の外国語教育の充実を図るために、ALT（外国語指導助手）2名を小中学校に派遣し、子どもたちがネイティブの英語音声に親しみ、発音を習得する機会の確保に努めた。

小学校5年生と6年生の外国語科の授業において、学習指導要領に示された外国語科の目標及び英語学習の特質を踏まえ、「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やりとり）」



「話すこと（発表）」「書くこと」の5領域別に設定された目標の実現をめざした指導が小学校において行われるために、三重県教育委員会の支援を受けて、CAN-DO リスト（学習到達目標）に基づいた言語活動を重視した英語授業の研修を実施した。

また、令和5年度は小中連携にも力を入れ、小中学校の英語担当教員が授業参観をふまえて交流、協議する機会を設定し、学習指導要領に示された英語の目標や指導内容の共通点と相違点について理解を深めて指導に活かす取組を推進した。

#### ④ ICTを活用した授業の充実

各学校がICTを活用した教育の考え方と進むべき方向性について共通のビジョンを持ち、効果的な活用方法を模索しながら教育の質の向上を図っていくために、国のGIGAスクール構想の方針を踏まえた「菰野町学校ICT教育推進計画」を策定し、各校に示している。

また、義務教育9年間に獲得すべき情報活用能力をまとめた「学年別情報活用能力段階表」や必修化されたプログラミング教育が小学校において確実に実施されるために発達段階に応じた「プログラミング学習教材系統表」を各学校に示している。各校はそれらに基づき、情報活用能力育成のための年間指導計画を作成し、見直しをもちながら情報教育を推進している。

各校がICT環境を安定的に維持することができるよう「学年別情報活用能力段階表」や「1人1台端末使用上の約束」、「健康に関する指導」、「紛失・故障・破損等の対応」等を取りまとめたガイドブックを作成し、各学校に配付・周知を行った。また、年間を通して情報担当者会議を開催し、ICTの環境整備や活用方法について協議を重ねた。

菰野町では、児童生徒1人1台端末に学習者用デジタル教科書を導入している。三重県教育委員会の支援を受けて、学習者用デジタル教科書を授業のどの場面でどのように活用するとよいのか、紙の教科書とどう組み合わせるとよいのか、児童生徒の家庭学習等にどのように役立てるとよいのか等、学習者用デジタル教科書の効果的な活用のあり方について学ぶ研修会を実施した。また、ICT支援員を各学校へ派遣し、教職員と児童生徒へのICT機器等に関する技術面等のサポートを行った。

また、情報発信による他者や社会への影響、インターネット上のルール等を守ることの意味、情報には自他の権利があること、情報には誤ったものや危険なものがあることについて考え、適正に情報を活用することについて学ぶ情報モラル教育を推進した。

#### ⑤ キャリア教育の推進

各教科及び道徳、特別活動、総合的な学習の時間等、教育活動全体を通して、かつ他の教育活動とのバランスに配慮しながら、汎用性のある学力、コミュニケーション能力、忍耐力、規範意識、マナー、働く者の権利や義務についての理解、男女共同参画を重んずる態度等、社会的、職業的自立に必要な能力の育成を図った。特に中学校においては、子どもたちが望ましい勤労観や職業観を持ち、主体的に進路を選択する能力を身につけていくことをめざし、外部講師を招いてのマナー講座や職場体験学習を実施した。

#### ⑥ 幼児教育の充実

就学前教育と保育の両方を提供する幼保一体施設の運営を継続して行い、町内全ての小学校区で保護者のニーズに寄り添った就学前教育及び保育、幼児教育の充実に努めた。幼保一体化幼稚園を含めた全ての幼稚園において3歳児保育を実施している。

各中学校区の校園長会議や、子ども支援ネットワーク会議の中で、保幼小中の連携

を目的とした研修会をもち、学校や園の状況、教育課題等についての共通理解を深めることができた。また、幼児教育が小学校教育開始の大切な準備段階であることから、保幼小の相互の活動を園児と児童が体験したり、職員が参観したりすることで交流を行ってきた。

子ども家庭課と連携をしながら、今後も園と小学校の子どもたちの具体的な姿とともに教育方法や指導計画について意見交換をする機会等を設け、園と小学校との円滑な接続を一層図るよう努めていく。

## (2) 豊かな人間性を育む教育の推進

### ① 人権教育・道徳教育の充実

人権教育では、各学校が策定した「人権教育推進計画」に基づき、子どもたちの人権尊重の意識と実践力を養うため、教科等指導や生徒指導、学校経営などの教育活動全体を通して、一人ひとりの存在や思いが大切にされる「人権感覚あふれる学校づくり」をめざし、町内すべての小中学校で、子どもたちの発達段階に応じた「人権教育カリキュラム」を作成し取組を進めた。

また、令和5年度の三重郡人権・同和教育研究協議会研究推進校である朝上小学校、菰野中学校において研究発表会を開催すると共に、三泗地区で開催された第57回三重県人権・同和教育研究大会では、菰野小学校が実践報告を行い、町全体で人権教育についての研修を深めた。

道徳教育では、各校において学校や子どもたちの実態に基づき、道徳教育の全体計画等を作成し、学校の教育活動全体を通じて道徳教育を実施した。各教科や総合的な学習の時間及び特別活動等においては、それぞれの特質を生かしながら、生命を尊重する態度、我が国の伝統や文化、郷土を愛する心等、子どもたちの道徳性が養われる教育活動を推進した。

道徳科においては、よりよく生きるための基盤となる道徳性を子どもたちに育成するために、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめたり、物事を多面的及び多角的に考えたり、自己の生き方について考えたりする学習場面を重視した授業を推進した。

また、子どもたちの日常的に情報機器を用いる環境に対応するため、道徳科の授業において、情報機器等は便利である一方、使い方によっては違法行為や他者を傷つける等、人間関係に負の影響を及ぼすこと等について子どもたちが考えを深めることができる情報モラル教育の充実に努めた。

### ② 安心して学べる学校づくり

学校においてはすべての子どもたちにとって居心地の良い学校となるように、子どもたちに対する観察と教育相談に加えて、「hyper-QU」(子どもたちの内面を知ることのできる「楽しい学校生活を送るためのアンケート調査」)を実施するなど、さまざまな観点から子どもたちの実態を把握し、日常の学級指導や特別活動などにおいても集団づくりの取組を進めた。

児童生徒の悩みを積極的に受け止めることができるようにするため、令和5年度もスクールカウンセラーや生徒指導推進協力員、スクール相談ネットワークワーカーを町単独で配置し、生徒指導體制の確立に努めた。学校内の巡回や問題行動等の予兆の早期発見、未然防止、保護者への支援等の取組を進めてきた。各校の状況をスクール相談ネットワークワーカーと情報共有し、子ども家庭課や児童相談所、四日市西警察署、三重県教育委員会のスクールソーシャルワーカーや生徒指導特別指導員等の関係機関と連携して、適切な指導に努めた。

また、「学校いじめ防止基本方針」に基づき、学校教育に携わるすべての関係者がいじめの兆候をいち早く把握して迅速に対応するよう、学期に1回以上のアンケート調査や個別面談等により、いじめの早期発見、早期対応に努めた。いじめ問題の根本的な解消に向けて子どもたちの人権感覚を高め、思いやりの心や個性を認め合う力を育成し、さらには違いを多様性として理解する力を培い、「いじめを許さない心」を育むとともに「いじめを許さない」「見て見ぬふりをしない」ことが自然で当然な価値観とされるよう取組を進めた。また、情報モラル教育やリスク管理を推進するとともに、教職員や保護者等の情報技術に対する対応力の向上を図り、いじめを含むネットトラブルの未然防止や早期発見、早期対応にも努めた。

さらに、菰野ふれあい教室を町単独事業として「三重県民の森 ふれあいの館」で週3回、指導員2名体制で実施した。令和5年度は小学生6名と中学生2名が入級した。個別指導を中心に基礎学力定着のための学習支援に努めるとともに、教育相談セラピストも年20回派遣し、不登校児童生徒（保護者を含む）の相談に応えてきた。

教育委員会事務局に非常勤の教育相談員を配置し、教育相談にあたってきた。令和5年度は、面談20件（来所20件・巡回0件・訪問0件/昨年度計20件）、電話による相談6件（昨年度0件）となっている。相談内容の主なものとしては、不登校の問題や学校生活への適応を含めた学業や進路に関するもの、教職員との関係や家庭に関するものであった。なかでも相談内容として一番多かったのは、個別の指導や支援が必要な児童生徒についての相談で、カウンセラーや子ども家庭課と連携して発達検査も実施しながら支援の方向を考えたものは100件あった。

不登校児童生徒数は、小学校で43名（前年度41名）、中学校で88名（前年度62名）と、小学校で23名、中学校で28名の増加となった。特に、中学校の2年生と小学校の低学年の増加が目立った。不登校の原因は種々様々であるが、聴き取りによる主たる要因は「不安・抑うつ」であった。はっきりとした根拠はないが、コロナ禍が長期化したことで、人と人とが関わり合う機会が減少し、友だちと人間関係を築くことに難しさや不安を感じる児童生徒が増えたことも原因ではないかと考えられる。スクール相談ネットワークや菰野ふれあい教室指導員が学校の不登校対策委員会に出席するなど学校と連携し、また各学校においては関係機関等と情報の共有を図りながら指導及び支援にあたってきた。

(町不登校児童生徒数)

人、( )内は%、R5は暫定値

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
小学校	17(0.71)	18(0.76)	16(0.67)	18(0.74)	41(1.69)	43(1.85)
(全国平均)	(0.70)	(0.83)	(1.0)	(1.3)	(1.7)	
中学校	43(3.78)	46(4.05)	40(3.56)	34(3.0)	62(5.46)	88(7.32)
(全国平均)	(3.65)	(3.94)	(4.09)	(5.3)	(6.0)	

### ③ 読書活動の充実

読書活動を通して、子どもたちの感性を磨き、表現力や想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけさせる等の豊かな心の育成に取り組んできた。また、読書活動は主体的な学びや読解力、言語能力、創造力を育む重要な学習活動である。学校においては、一斉読書や読み聞かせ、家庭読書の啓発に努めた。

平成28年度より町内すべての小中学校へ菰野町図書館司書が月2回の巡回訪問を行い、菰野町図書館と学校が連携し、学校図書館の環境整備に努めている。子どもたちが新しい情報に触れることができるよう、刊行後の時間の経過とともに古くなった情

報が記載された図書等については、環境、キャリア教育、情報化社会等に関する図書を中心に、計画的に更新を行っている。また、文学や読み物漫画に偏ることなく、自然科学や社会科学等の分野の図書資料の割合を高める等、子どもたちや教職員のニーズを把握しながら、調和のとれた蔵書構成になるよう選定に努めている。

(学校図書館の整備状況)

R6.3

	実学級数	図書標準数	R5年度末蔵書数	達成率
菰野小学校	40 学級	13,960 冊	19,104 冊	1.368
千種小学校	15 学級	9,160 冊	10,192 冊	1.112
朝上小学校	17 学級	9,960 冊	13,763 冊	1.381
鵜川原小学校	10 学級	7,000 冊	10,726 冊	1.532
竹永小学校	18 学級	10,360 冊	11,794 冊	1.138
菰野中学校	25 学級	15,840 冊	17,961 冊	1.133
八風中学校	12 学級	10,720 冊	15,451 冊	1.441

#### ④ 郷土教育の推進

自分たちが育ってきた地域を大切に守っていこうとする心や地域に貢献しようとする態度を養う等、郷土について考える機会を充実させていくために、地域の教育資源や「わたしたちのまち菰野町」(小学校社会科副読本)の活用のほか、町で保管している郷土資料を小学校へ持ち出し、実際に触れながら学芸員から授業を受けるなど、「郷土を知り、郷土から学ぶ」学習活動を推進した。これらの学習活動には、各校の学校運営協議会(菰野町コミュニティ・スクール)の取組とも関連づけながら、郷土教育を実施することができた。

### (3) 健やかな体を育む教育の推進

#### ① 健康教育の充実

子どもたちが自分自身を価値ある存在と認めて自分を大切に思う自尊感情を育むなど、教育活動全体を通して「いのちの教育」に取り組んだ。また、性に関する教育やがん教育、喫煙、飲酒、薬物乱用防止教室等、子どもたちの健康課題については、子どもたちの発達の段階に応じて、小学校の体育科や、中学校の保健体育科の授業を中心に養護教諭や栄養教諭などとも連携し、学校の教育活動全体を通じた健康教育を実施した。養護教諭により保健だより等を発行し、児童生徒だけでなく、保護者に対しても健康教育の啓発を行った。

#### ② 体力の向上

学校体育では、体育や保健体育の授業及び運動部活動、スポーツ行事など、学校教育活動全般を通して、子どもたちが運動やスポーツの楽しさ、喜びを体験し、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎を培うものとして充実を図ってきた。

また、児童生徒一人ひとりがそれぞれの能力と適性に応じて、運動の課題を自ら解決することによって運動の楽しさや喜びを味わうとともに、運動の技能を高めることができるように授業づくりを進めた。

「三重県児童生徒の体力・運動能力調査」については、調査対象の児童生徒だけでなく、全学年の児童生徒に対し体力測定を実施して、早期からの子どもたちの体力向上に向けた取組を行っている。

さらに、運動部活動においては、菰野町部活動ガイドラインに基づいた適切な運営と効果的な指導のもと、学校生活に豊かさをもたらすことができるよう進めてきた。令和5年度は、両中学校に4名の部活動指導員を配置し、子どもたちに対して専門的な指導を充実させることができた。また、国の委託事業である地域スポーツクラブ活動体制整備事業を受け、NPO法人元気アップこものスポーツクラブ指導者による地域クラブ活動を休日に実施し、地域と連携した持続的な運動機会の確保・充実に取り組むことができた。

### ③ 食育の推進

望ましい食習慣の形成、食に関する正しい知識の習得、さらにはその知識に基づいて食品の品質および安全性について自ら判断できる能力の育成を図った。また、栄養教諭などを中心に、校内で「食に関する指導」の計画を立て、学校教育全体を通して望ましい栄養や食事の摂り方、食に関する正しい知識等、指導内容の充実を図った。

令和5年度も菰野小学校、朝上小学校に栄養教諭を配置し、所属校が属する中学校区のすべての小中学校を担当し、小学校1年生から中学校3年生までのそれぞれの発達段階に応じた食育指導を担当や養護教諭と連携して実施した。

また、小学校では給食だよりを定期的に発行し、児童だけでなく保護者に対しても食育の啓発等に取り組んだ。

その他には、令和4年度に策定した菰野町学校給食基本構想に基づき、学校給食共同調理場施設整備及び運営に係る基本計画の策定を含めた官民連携手法の導入可能性調査等を行った。そして学校給食を通じて食の大切さを学習でき、食育の推進につながる施設の整備に向けて、菰野町学校給食共同調理場施設整備基本計画書を作成した。

## (4) 信頼される学校づくり

### ① 地域とともにある学校づくりの推進

菰野町においては、平成29年度より町内すべての小中学校でコミュニティ・スクールをスタートさせた。

菰野町学校教育指導方針の一つである「地域とともにある学校づくり」を基本として、各学校で地域性や子どもたちの状況に応じた特色ある学校経営がなされるよう、各校の学校経営方針を学校づくりビジョンに位置づけている。学校づくりビジョンは、学校だよりや各校のホームページ等を活用して公開している。また、児童生徒や保護者、教職員を対象とした学校評価についても同様に情報公開を行っている。

学校マネジメントシステム（学校自己評価と学校関係者評価）やコミュニティ・スクール等を活用することで、保護者や地域住民が学校運営に参画する機会を増やしている。さらに学校公開週間を通して日頃の教育活動を広く公開するとともに、地域の人材を活用した外部講師（ゲストティーチャー）を教育活動の中に取り入れたり、中学生が地域のふれあいまつり等にボランティアとして参加したりするなど、地域と学校の双方向の連携を図り、地域に信頼される「地域とともにある学校づくり」に努めた。各学校においては、これまでの地域と連携した取組が組織的に活動できるようになり、これらの取組を通して地域の方々や児童生徒にとってよい刺激となるなど、学校品質の向上につなげることができた。

また、子どもたちの登下校の安全確保のために、教育委員会や関係行政機関、警察と連携して登校時の見守り等を実施した。

### ② 教職員の資質向上とコンプライアンスの推進

日常的にOJTによる人材育成を行い、授業の進め方や生徒指導のあり方等の具体的

な課題について同僚との議論を通して互いの力を磨こうとする「育てる文化」をつくりながら教職員としての資質の向上を図った。また、教職員同士の対話を重視し、互いに認め合える職場づくりをめざすとともに、学校の課題を共有し解決していくために、組織として対応する教職員集団を育成し、学校組織の活性化及び同僚性の構築を図った。

教職員の綱紀粛正及び服務規律の確保に関して、「教職員向けコンプライアンス・ハンドブック」や「コンプライアンス・ミーティング研修資料について」（ともに県教委資料）を活用した校内研修等による教職員の意識改革を促している。

教職員の授業力の向上については、学力向上アドバイザーを町単独で2名配置し、各校の要請に応じて派遣を行っている。学習者主体の考え方に立ち、児童生徒の基礎的かつ基本的な知識の習得の徹底と、児童生徒が「できた」という実感を持てる授業づくりのための支援を進めている。

### ③ 学校における働き方改革の推進

総括安全委員会において、前年度の時間外在校等時間などの分析結果をもとに、全校での総勤務時間の縮減の取組を行っている。「定時退校日の設定」「(菰野町部活動ガイドラインに則った)部活動休養日の設定」「会議時間の短縮」のような取り組み目標であったり、「年に1日分の休暇の取得日数の増加」や「時間外労働者数0人」などの具体的な数値目標を掲げたりしている。また、全校に、学校電話の「休日・夜間モード設定」を導入し、勤務時間外の教職員の負担軽減を進めている。これらの取組は、学校を通じて各家庭にプリントを配付することで、保護者の理解を得ることに努めている。

業務内容の改善取組としては、「校務支援システム(C4th(シーフォース))」を活用することにより、校務で取り扱うさまざまなデータを電子化し、校務の情報化を図ることで、名簿や成績表及び保健管理等を取り扱う時間の削減など、一定の定量的効果を上げることができている。

教職員の指導のための時間の確保として、各学校の職務内容や職場環境を把握し、教職員による日常的な児童生徒との関わりや、教育相談等を定期的に実施できる職場づくりに努めた。また、教員の業務負担軽減のため、スクールサポートスタッフの全校配置や、生徒指導及び不登校支援対応として、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの各校への配置、図書館司書の全校への訪問時間や回数を増やすなど、専門職種の学校への導入を積極的に推し進め、児童生徒と向き合う時間が生み出せるようにサポートしている。

### ④ 子どもたちの安全・安心の確保

新型コロナウイルス感染症の「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」上の位置づけが、新型インフルエンザ等感染症から5類感染症に変更された後も、子どもたちの教育を受ける権利を保障していくために、学校における感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減した上で、夏場の熱中症の対応なども考慮しつつ学校運営を持続していくよう努めた。その中で、アルコール消毒薬などの保健関係の消耗品や備品の充実、網戸の設置などの換気対策の整備には、国の補助金を活用し、学校教育活動を継続するための体制を確保した。

子どもたちを取り巻くあらゆるリスクを想定し、家庭や地域とも連携した安全対策の確立と、教職員の危機管理意識や危機管理能力の向上を図り、あらゆる教育活動の中に安全教育(生活安全(防犯を含む)教育、交通安全教育、防災教育)を位置づけることで、子どもたち自らが危険を予測したり回避したりする力を身に付けられる

よう努めた。

学校施設は児童生徒等の学習や生活の場であることから、学校施設の耐震化の推進、安全点検の徹底、教職員の危機管理意識を高める取組等を通して、事故が起こらない環境づくりを進めた。また、施設整備事業として、菰野中学校武道場畳改修設置や千種小学校プールろ過機及び放送設備の更新等を行い、施設の適正な維持管理に努めた。

(施設整備事業の主な内容)

工事名	請負業者	請負金額	工期	工事概要
菰野小学校門扉他 新設工事	株式会社 佐野テック	1,166,000円	自 R5.4.26 至 R5.8.31	門扉他新設
千種小学校 放送設備更新工事	有限会社 三重電設	5,984,000円	自 R5.5.26 至 R5.9.12	更新工事
千種小学校 プールろ過機更新工事	東邦地水 株式会社	6,886,000円	自 R5.5.26 至 R5.10.17	更新工事
朝上小学校 校舎建具改修工事	辻木材 株式会社	1,227,600円	自 R5.6.26 至 R5.8.31	改修工事
竹永小学校 駐車場舗装整備工事	株式会社 内田工業所	2,706,000円	自 R5.7.18 至 R5.9.15	舗装工事
朝上小学校 校舎建具改修工事	辻木材 株式会社	1,227,600円	自 R5.6.26 至 R5.8.31	改修工事
菰野小学校C館 手洗い水栓増設工事	有限会社 内田設備	1,140,700円	自 R5.7.19 至 R5.8.31	増設工事
千種小学校南校舎 多目的室改修工事	辻木材 株式会社	1,273,140円	自 R5.10.4 至 R6.3.24	改修工事
朝上小学校 給食室建具他改修工事	辻木材 株式会社	1,083,093円	自 R5.7.4 至 R5.8.31	改修工事
鵜川原小学校 連絡通路上屋塗装工事	株式会社 内田工業所	753,500円	自 R5.6.6 至 R5.8.31	塗装工事
鵜川原小学校体育館 正面玄関修繕工事	株式会社 内田工業所	737,000円	自 R5.5.8 至 R5.8.31	改修工事

竹永小学校 東側門扉改修工事	株式会社 岩田組	785,400 円	自 R5.6.19 至 R5.8.31	改修工事
竹永小学校体育館 ネット他改修工事	株式会社 岩田組	737,000 円	自 R5.7.6 至 R5.8.31	改修工事
菰野中学校 武道場畳改修工事	株式会社 八幡建設	5,577,000 円	自 R5.6.9 至 R5.9.6	改修工事
菰野中学校 剣道場床改修工事	株式会社 佐野テック	968,000 円	自 R5.6.20 至 R5.8.31	改修工事
菰野中学校 正門他改修工事	株式会社 シンリュウ	3,201,000 円	自 R5.6.5 至 R5.9.2	改修工事
八風中学校グラウンド 部分補修工事	長永スポーツ工業 株式会社	1,149,500 円	自 R6.3.4 至 R6.3.31	改修工事
八風中学校グラウンド トラック整備工事	長永スポーツ工業 株式会社	682,000 円	自 R6.3.18 至 R6.3.31	改修工事

#### 【評価と今後の方向】

菰野町教育大綱及び菰野町教育振興基本計画の方針では、「新しい時代をたくましく生きる子どもの育成」を学校教育目標として掲げ、「自立と共生」と「信頼」をキーワードに、「確かな学力の育成」「豊かな人間性の育成」「健やかな体の育成」「信頼される学校づくり」の4つを柱にして、菰野町が目指す学校教育の方向性を示している。この方針に基づき本年度の教育活動を推進した。なお、三重県では、令和5年5月8日をもって、新型コロナウイルス感染症が、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」上の5類感染症に移行されることになり、それに伴い「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」が改定された。そのことも受け、令和5年度の学校運営においては、引き続き必要な感染拡大防止策を講じて持続的な教育活動を行っていくことを原則として進めていた。個別の主な事業についての評価と今後の方向については、以下のとおりである。

学力の定着に向けて、町単独で各学校に非常勤講師を配置し、少人数授業を小学校3～6年生の算数科で、中学校では2年生と3年生の数学科及び英語科で実施し、また、その他学力のために必要と認められる教科について、児童生徒一人ひとりにきめ細かな個に応じた指導をしてきている。しかし、講師不足が深刻な状況であり、産育休や病休補充の常勤講師が十分に配置できずに、少人数授業の実施に影響が出る場合があるのが課題である。今後も引き続き小学校の算数科と中学校の数学科及び英語科に重点をおいた少人数授業の推進を図り、その他学力向上のために必要と認められる教科において、基礎学力の定着ときめ細かな指導を目指していく。

これまで「全国学力・学習状況調査」「みえスタディ・チェック」「CRT 標準学力検査」を通して、各学校で学力調査の結果を分析し、課題を明らかにして、授業改善に取り組んできた。また、学年末には取組の検証も行った。「全国学力・学習状況調査」や「みえスタディ・チェック」については、今後も調査結果の分析を実施し、授業改善につなげられるようにしたい。また、調査結果については経年推移からも分析し、



有効に活用していく。

各校に示している「菺野町学校 ICT 教育推進計画」に基づき、導入した学習者用デジタル教科書等の効果的な活用や、情報モラル教育の充実を図ることで、ICT 環境を安定的に維持することができるよう取組を推進していく。

特別支援教育については校内特別支援委員会の中で、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育支援を推進するために、個別の教育支援計画や指導計画を作成して、保護者や関係機関との連携を図り、児童生徒の指導及び支援にあたってきた。就学前、小学校、中学校と途切れのない支援体制を整えるため、子ども家庭課との連携を強めるとともに、町内2名の特別支援教育巡回コーディネーターを各学校からの要請に応じて派遣し、就学相談等の充実を図ってきた。今後も、途切れのない支援体制の整備、関係機関との連携を充実させる。また、障害者差別解消法を受け、今後も学校現場における合理的配慮の提供についても各校と協議しながら取組を進めていく。竹永小学校に開設し、4年目となった通級指導教室「ほっとルームたいよう」については、通級指導担当教員の発達障害のある児童への指導や支援に係る専門性の向上を図りながら指導や相談体制の維持している。今後は、令和6年度中の新たな通級指導教室の開設に向けて、各小学校での観察を通じた掘り起こしや、保護者への周知を行っていく。

外国語教育については、ALT（外国語指導助手）を活用し、小学校における外国語や外国語活動の授業力向上を推進する。

幼児教育については、これまで進めてきた CLM（チェック・リスト・イン三重）や個別の指導計画、パーソナルカルテ（菺野町版）等の取組も活用し、保育園、幼稚園、こども園、小中学校の連携をさらに深める。また、今後は、幼児教育が小学校教育開始の大切な準備段階であることから、子ども家庭課と連携しながら、園と小学校の子どもたちの具体的な姿をもとに教育方法や指導計画について意見交換をする機会等を設け、園と小学校との円滑な接続を一層図るよう努めていく。

三重郡人権・同和教育研究協議会研究推進校である朝上小学校、菺野中学校において研究発表会を開催すると共に、三泗地区で開催された第57回三重県人権・同和教育研究大会では、菺野小学校が実践報告を行い、町全体で人権教育についての研修を深めた。町内の不登校児童生徒数については、令和5年度は小学校で1名の増加、中学校で26名の増加となった。不登校の要因は様々であるが、依然として不登校率が高い状況が続いていることは菺野町にとって大きな課題であると言える。学校の支援室や菺野ふれあい教室等での学習を通して、自己肯定感や自尊心の育成を図り、徐々に自己実現に向けての成果を上げている子どももいるが、不登校及び不登校傾向が長期化してしまっている児童生徒もいる。不登校になってからの対応とともに、不登校の入り口の段階での未然防止の取組（レジリエンス教育）に視点を当てることも大切にしていきたい。子どもたち一人ひとりの状況に応じた多様な学びの場の提供が求められるなか、引き続き不安や悩みを受け止められる体制づくり（教育相談の充実、「楽しい学校生活を送るためのアンケート調査（hyper-QU 調査）」等の取組、カウンセラー等の配置、教職員のカウンセリングマインド研修等）の充実を進める。

読書活動の推進については、一斉読書の取組、図書標準数達成に向けての書架整備、家庭での読書の啓発など読書活動の充実に取り組んできている。今後も、家庭、図書館司書と積極的に連携し、学校図書館の環境整備や家庭読書を推進していきたい。

体力向上については、今後も、町内すべての小中学校において体力テストを実施し、その傾向と課題を分析しながら、基礎体力の向上に向けて取組を進めていく。また、中学校部活動については、引き続き菺野町部活動ガイドラインに基づいた適切な運営を行うとともに、部活動の地域移行については、国の委託事業である地域スポーツクラブ活動体制整備事業を受け、NPO 法人元気アップこものスポーツクラブ指導者によ

る地域クラブ活動を休日に実施し、地域と連携した持続的な運動機会の確保・充実に取り組むことができた。

コミュニティ・スクールについては、各校での取組が充実してきている。今後も各校や地域の特色を生かした事業を進めていく。

学校施設、設備の充実については、今後も児童生徒の利便性、快適性の向上に向けた対策を継続して進めていく。また、学校電話の「休日・夜間モードの設定」を導入したり、「校務支援システム」の活用を促したりすることで、教職員の長時間労働を軽減し、教育の質の向上をめざす取組を実施している。

## 2 社会教育

### (5) 地域全体で取り組む家庭教育と青少年健全育成の充実

#### ①家庭の教育力の向上

家庭教育講座として、防災ラジオなどを通じて啓発活動を行った。

#### ②地域における青少年活動の推進

青少年健全育成を推進するため、地域における非行防止の環境づくりや補導活動等を支援した。

#### ③現代社会を生き抜く青少年の健全育成

青少年育成町民会議を中心とした非行防止パトロール、あいさつ運動等を支援し、補助金を活用することで活動の場を広げ、町ぐるみで青少年育成活動を行った。

#### ○青少年活動支援推進事業

事業名	期日	対象	場所	人数
コボンタフェスティバル	7月2日	小中学生	町民センター ホール	270名
KOMONOプロギング	9月16日	一般	大羽根緑地周辺 (町民会議事業)	53名
書初め大会	1月6日	幼保園児 小中学生 一般	体育センター	53名
新春たこあげ大会	1月6日	親子	朝上小学校 (町民会議事業)	101名
育成者指導者研修会 家庭教育研修会	2月28日	一般	町民センター ホール	60名

### (6) 活力ある地域社会の構築に向けた生涯学習の推進

#### ①生涯学習推進体制の確立

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、よもやま歴史教室や人権コンサート、かもしかライフカレッジ等、生涯学習の振興を図るための講座や講演会などを例年通りの規模で行った。また、外国語指導助手により、隔月で国際交流会を開催し、町内における国際交流活動を推進した。

○生涯学習推進事業

よもやま歴史教室 2023

[主催]菰野町/よもやま歴史サークル

回	日時	内 容	講 師	人数
1	5月20日 14:00～	日本書紀の呪縛 20～21世紀 を迎えた今も、私たちの中に 生き続けている書物の意味 とは～	名古屋市立大学特任教授 吉田 一彦 先生	55名
2	6月17日 14:00～	お釈迦さまの足跡を訪ねて ～今もって求められるお釈 迦さまの教え～	釈尊愛好家 よもやま歴史サークル会員 千種 光雄 先生	71名
3	7月15日 14:00～	齋藤拙堂の『海防五策』につ いて～現在にも通じる国防 上の考え方を読み解く～	拙堂研究家・文学博士 (拙堂の玄孫) 齋藤 正和 先生	55名
4	8月19日 14:00～	戦争体験を考える～アジ ア・太平洋戦争の戦場と兵士 ～	一橋大学 名誉教授 吉田 裕 先生	78名
5	9月16日 14:00～	伊勢国をめぐる豊臣と徳川	皇學館大學名誉教授 上野 秀治 先生	73名
6	10月21日 14:00～	古代の女帝	京都女子大学名誉教授 瀧 浪 貞子 先生	70名
7	11月18日 14:00～	八重姫と菰野藩土方家	三重大学 副学長 藤田 達生 先生	106名
8	12月16日 14:00～	菰野町の縄文時代遺跡～西 江野遺跡・鈴山遺跡・大久保 遺跡ほか～	三重県総合博物館(MieMe) ミュージアムパートナー会員 吉田 経二郎 先生	67名
9	2月17日 14:00～	豊臣政権下の徳川家康	中京大学文学部名誉教授 播磨 良紀 先生	65名

かもしかライフカレッジ 2023 [主催] 菰野町/かもしかライフサークル

回	日時	内 容	講 師	人数
1	8月11日 19:00~20:30	夏のほしぞら観望会	星空案内人 星のソムリエグループ	100名
2	9月9日 14:00~16:00	こころのストレッチ教室	三重大学医学部看護学科 母性看護学非常勤講師他 林 みち子 先生	20名
3	11月12日 第1部 9:30~12:00 第2部 13:00~14:50	Gardening Open Lecture 映画、講演会、ワークショップ	MAY GARDENS ガーデンデザイナー 柵山 直之 先生	104名
4	12月17日 14:00~16:00	ウィンターコンサート	三重ユナイテッド ウィンドオーケストラ	480名

○教育委員会主催 人権教育事業

事業名	期 日	場 所	人 数
各地区公民館 ・人権コンサート ・人権講演会	7月~1月	各地区公民館 各地区コミュニティセンター	596名
人権コンサート	3月17日	町民センターホール	109名

○教育委員会主催 文化事業

事業名	期 日	場 所	人 数
町民盆踊り講習会	6月24日	菰野地区 コミュニティセンターホール	30名
二十歳のつどい	1月7日	菰野町町民センターホール 菰野町体育センター	312名 (2部制)
プロの音楽家による 課外授業アウトリーチ	2月6日 12月12日 2月1日 3月5日	菰野小学校 鵜川原小学校 朝上小学校 千種小学校	小学校 4年生

○教育委員会支援文化事業

事業名	期 日	場 所	人 数
第26回菰野町俳句大会	7月8日	菰野町町民センターホール	52名 565句
第14回三滝川燈火祭り & 第36回町民盆踊り大会	8月19日	三滝川河川敷周辺	20,000名

○国際交流事業（異国文化とふれあう）

事業名	期 日	場 所	人 数
Odd Jobs	5月10日	菰野町庁舎4階会議室	30名
クレイジーサバイバルストーリーズ	7月12日	菰野町庁舎4階会議室	5名
Let 's meet Mollie	9月13日	菰野町庁舎4階会議室	中止
Let 's meet Mollie	11月8日	菰野町庁舎4階会議室	17名
The Wonders of Nature	1月10日	菰野町庁舎4階会議室	18名
Unsung Heroes	3月13日	菰野町庁舎4階会議室	17名

②公民館機能の充実

生涯学習の推進を図るため、町公民館や地区公民館において各種学級、講座を開催するとともに、公民館を趣味のサークルの場として、町民センターや南部公民館、地区公民館等の施設を町民に開放した。

○公民館教室及び講座

	教室、講座名	期間	日時	学習内容	講師名	会場	人数
1	文学講座	5月 ～ 2月	第4金曜日 (7月のみ 第3金曜日) 13:30～ 15:00	『雨月物語』 を読む～日本 文学史上屈指 の怪異美を味 わう～	三重県生涯 学習センタ ー講師 河原徳子	町民センター 会議室	60名
2	親子 ロボット講座	6月 ～ 2月	第2土曜日 9:30～ 11:00	ロボット製作 を通して、もの づくりに必要 な知識、技術を 身につける	株式会社 ロボネット 堀田 武志	町民センター 会議室	親子 24組
3	ガーデニング 講座	5月 ～ 12月	第3木曜日 9:30～ 11:00	お庭づくりの 基本をプロが 分かりやすく 伝える	メイガーデ ンズ ガーデン デザイナー 柵山 直之	町民センター 会議室	20名
4	ソーシャル メディア 講座	6月 ～ 12月	第1月曜日 18:30～ 20:00	SNSの安全で効 果的な使い方 を学ぶ	有限会社 ザワン ノブ横地	菰野町庁舎 4階 会議室等	24名

5	びっくり理科 実験教室	8月12日	14:00～ 16:30	おもしろ理科 実験から科学 の不思議を学 ぶ	ロボネット 堀田 武志	南部公民館 育成センター	15名
6	親子DIY教 室	7月29日 8月5日	13:30～ 15:30	作りたいもの を自分で設計 して親子で一 緒に組み立て る。	株式会社 館建築 館 巧	南部公民館 育成センター	12組
7	はじめてのド ローン教室	7月29日 8月5日	9:00～ 10:45 10:45～ 12:00	基本的なルー ルを学び、安全 で楽しい操作 を覚える	有限会社 ザワン ノブ横地	南部公民館 育成センター	13組

### ③図書館サービスの充実

当館は、平成20年4月11日に開館し、現在16年目を迎えており、町民をはじめ近隣市町の利用者の方々の生涯学習の場として、中学生、高校生から高齢者まで幅広い方々に利用いただいている。また、児童書、絵本、紙芝居から育児に関する資料を児童書架に配置するとともに、絵本の読み聞かせ、英語による絵本の読み聞かせ、菰野町に伝わる民話語り、パネルシアターによる読み聞かせ、朗読劇等を体感してもらっている。

令和5年度実績について、図書開架室の年間入館者数24万2千人に対し、37万4千冊の図書資料の提供を行った。

図書館を更に身近に利用して頂くために、令和6年1月より『この電子図書館』を開館した。

また、学校図書室への図書館司書巡回支援を継続することで、児童生徒の読書関心を高める取組みを行っている他、小学生限定の『子ども司書』の卒業生を対象に、中学生以上も図書館に関わってもらおうための組織『リトルライブラリアン』が活動できる場を設けている。

#### ア) 図書館事業

事業名	開催日	時間	場所	備考	参加数
リトルライブラリアン	4月～3月 計16回	15:00～ ※イベント 時を除く	催事室他	小学6年生対象の子ども 司書を卒業した中高生に 読書推進リーダーとして 活躍のできる場を提供	登録者 22人
子ども読書週間 図書館ビンゴ	4月22日(土)～ 5月14日(日)		図書館内	本を借りて縦横斜め1列 揃えてビンゴカードを 作成する	30名
ボランティアのため の絵本読み聞かせ 教室	4月26日(水)	10:00～ 11:30	催事室	絵本の読み聞かせの 方法や知識についてのボ ランティア初心者向け講座	26名

子どものための 絵本ライブ	5月5日(金・祝)	14:00～ 15:00	おはなし ルーム	職員による絵本の読み聞 かせ会	子ども 15 名 と保護者
ボードゲームイベント	5月7日(日)	14:00～ 16:00	催事室	ボードゲームにより参加 者相互の交流を図る	児童 16 名 保護者 8 名
本の修理体験	5月26日(金)	10:00～ 11:30	催事室	本の修理を体験すること により、本を大切に保存 していくことを啓蒙する	9名
夏休み読み聞かせ スタンプラリー	7月1日(土)～ 8月26日(土)		おはなし ルーム、 交流ラウンジ	ボランティアによる、おは なし会(読み聞かせ会)、 開催	63名
夏休み 30DAY 読書チャレンジ	7月21日(金)～ 8月31日(木)		図書館内	夏休み期間中に 30 冊読 書チャレンジする	17名
手作り絵本教室	7月23日(日) 7月30日(日)	9:30～ 11:30	催事室	小学4年生から6年生を 対象とした製本から完成 までの手作り絵本作成講 座	5名
図書館探検隊	7月29日(土)	14:00～ 15:00	図書館内	普段は入れない書庫や ブックポストの裏側紹介	6名
子ども司書育成講座	8月～12月 計8回	13:00～ 16:00	図書館内	小学6年生を対象とする 図書館業務体験講座	7名
くるくる絵本を作ろう	8月5日(土)	10:00～ 11:00	催事室	画用紙で六角返しと呼ば れる工作で「くるくる絵 本」を作成する。	幼児～小2 10名 保護者 7名
児童書「ふるほん市」	8月19日(土)	10:00～ 16:00	けやき 図書室	各家庭から古本を寄贈して 頂き販売(507冊)し、その 収益を社会福祉協議会に 寄付する。	
スカベンジャーハント	8月22日(火)	14:00～ 15:00	図書館内	クイズ方式で図書館内の 本を探し当てるゲーム	30名
昆虫観察会	9月16日(土)	10:00～ 11:30	催事室/ 図書館周辺	図書館周辺の昆虫観察 会	子供 11名 保護者 8名
ブックコート体験会	9月27日(水)	10:00～ 11:30	催事室	図書館の本をカバーして いる透明フィルムの付け 方体験	8名

秋の読書 スタンプラリー	10月7日(土)～ 11月19日(日)		開架室	対象者 図書館利用者 募集人数 中学生以上:50人 小学生以下:70人	91名
リサイクルフェア	10月22日(日)	9:30～ 16:00	催事室	雑誌等リサイクルフェア (同時入室25名までの人数制限有)	173名
おとなのための朗読会 おはなしの小箱	10月26日(木)	10:00～ 11:30	催事室	朗読アーティストによる大人向け朗読会	28名
本の紹介ゲーム ビブリオバトル	11月12日(日)	14:00～ 15:00	催事室	5分間で面白かった本を紹介し、決勝戦で一番読みたくなった本を決定する。	発表者7名 観覧者34名
書庫見学会	12月9日(土)	10:00～ 11:30	書庫	図書館書庫の自由見学	18名
本の福袋	12月14日(木) ～12月27日 (水)		図書館内	年末年始の特別貸出(10冊)の枠内に福袋の本を貸出す。	30名(袋)
ほがらか絵本畑 しんちゃんの 「読みあそびライブ」	12月24日(日)	10:00～ 10:40	交流ラウンジ	幼児～小学校3年生と保護者を対象に読み聞かせを交えたイベント (幼児～小学3年生とその保護者30組の観覧者を事前予約)	78名
絵本カルタ会	1月27日(土)	10:30～ 11:00	催事室	絵本の内容を読み上げて絵本を取り合う「絵本カルタ会」開催	子供8名

(イ) 催事室利用状況

開催日、期間	行事名	主催者名
4月2日(日)	リトルライブライアン	菰野町図書館
4月7日(金)	ボランティア作業/こもりぶサポーター会議	菰野町図書館
4月15日(土)	民話がり会議	菰野町図書館
4月15日(土)	みつけ総会	菰野町図書館
4月26日(水)	ボランティアのための絵本読み聞かせ講座	菰野町図書館



4月30日(日)	リトルライブラリアン	菰野町図書館
5月7日(日)	ボードゲーム大全	菰野町図書館
5月19日(金)	ボランティア作業	菰野町図書館
5月26日(金)	本の修理体験	菰野町図書館
6月1日(木)～4日(日)	写真展	桜合同写真展
6月11日(日)	リトルライブラリアン	菰野町図書館
6月16日(金)	ボランティア作業	菰野町図書館
6月18日(日)	昔と今をつなぐ しんちゃんの絵本ライブ	菰野町商工会青年部
6月30日(金)	ボランティア交流会	菰野町図書館
7月2日(日)	リトルライブラリアン	菰野町図書館
7月7日(金)	ボランティア作業／こもりぶサポーター会議	菰野町図書館
7月16日(日)	リトルライブラリアン	菰野町図書館
7月23日(日)/30日(日)	手作り絵本教室	菰野町図書館
7月29日(土)	図書館探検隊	菰野町図書館
8月5日(土)	夏休み講座【くるくる絵本を作ろう】	菰野町図書館
8月6日(日)	子ども司書育成事業	菰野町図書館
8月11日(金)～12日(土)	絵の展示(アフリカンアート)	菰野町コミュニティ振興課
8月13日(日)	リトルライブラリアン	菰野町図書館
8月18日(金)	ボランティア作業	菰野町図書館
8月20日(日)	リトルライブラリアン	菰野町図書館
8月27日(日)	子ども司書育成事業	菰野町図書館
9月3日(日)	リトルライブラリアン	菰野町図書館
9月9日(土)～10日(日)	絵本コンクール作品展示	菰野町絵本の町づくり文化プロジェクト実行委員会
9月16日(土)	昆虫観察会	菰野町図書館
9月22日(金)	ボランティア作業	菰野町図書館
9月24日(日)	子ども司書育成事業	菰野町図書館
9月27日(水)	ブックコート体験会	菰野町図書館
10月1日(日)	リトルライブラリアン	菰野町図書館
10月8日(日)	子ども司書育成事業	菰野町図書館
10月20日(金)	ボランティア作業	菰野町図書館
10月22日(日)	リサイクルフェア	菰野町図書館
10月26日(木)	図書館協議会	菰野町図書館
10月29日(日)	民話語り「真菰の会」とのコラボでの「八重姫伝」	オルゴール
10月29日(日)	子ども司書育成事業	菰野町図書館
11月5日(日)	リトルライブラリアン	菰野町図書館
11月12日(日)	ビブリオバトル(本の紹介ゲーム)	菰野町図書館

11月24日(金)	ボランティア作業/こもりぶサポーター会議	菺野町図書館
11月26日(日)	子ども司書育成事業	菺野町図書館
12月3日(日)	リトルライブラリアン	菺野町図書館
12月13日(水)~17日(日)	ウクライナ民族衣装他展示	菺野町コミュニティ振興課
12月22日(金)	ボランティア作業	菺野町図書館
12月24日(日)	子ども司書育成事業	菺野町図書館
1月7日(日)	リトルライブラリアン	菺野町図書館
1月14日(日)	リトルライブラリアン	菺野町図書館
1月19日(金)	ボランティア作業	菺野町図書館
1月20日(土)~21日(日)	書道作品展示	花墨会
1月27日(土)	絵本かるた会	菺野町図書館
1月27日(土)	ボランティア交流会	菺野町図書館
2月4日(日)	リトルライブラリアン	菺野町図書館
2月9日(金)	ボランティア交流会	菺野町図書館
2月15日(木)	図書館協議会	菺野町図書館
2月16日(金)	ボランティア作業	菺野町図書館
3月3日(日)	リトルライブラリアン	菺野町図書館
3月10日(日)	リトルライブラリアン	菺野町図書館
3月22日(金)	ボランティア作業	菺野町図書館
3月23日(土)	民話がり総会	菺野町図書館

※こもりぶサポーター作業はイベント準備、ブックコート、本の修理などを実施

ウ) ギャラリー利用状況

開催日、期間	行 事 名	主 催 者 名
4月1日(土)~9日(日)	アート作品の展示	アトリエいろのは
6月10日(土)~11日(日)	写真展示	こもの国民平和大行進 実行委員会
6月17日(土)~25日(日)	こもの昔ばなし絵本原画展 ~ゆのやまのさだごころばし~	菺野町商工会青年部
8月4日(金)~17日(木)	パネル展示(平和記念展)	菺野町総務課
8月18日(金)~27日(日)	アート作品展示	アトリエいろのは
9月5日(火)~10日(日)	救急ポスターコンクール作品展示	菺野町消防署
9月12日(火)~24日(日)	貯金箱コンクール in 菺野町	菺野郵便局
10月6日(金)~14日(土)	図書館周辺のトンボ展	松沢 孝晋
10月17日(火)~22日(日)	イラスト展示	増田 木綿子
11月1日(水)~10日(金)	健康ポスターコンクール/ 社会を明るくする運動ポスター展	菺野町健康福祉課

11月15日(水)～21日(火)	パネル展示(ええやん 里親)	社会福祉法人アパティア 福祉会 児童家庭支援 センター まお
11月17日(金)～19日(日)	書道作品展示	花墨会
1月6日(土)～9日(火)	全国孔版画愛好者による年賀状展	大羽根園孔版画同好会
	新春俳句	大羽根俳句同好会
1月24日(水)～2月12日(月)	鈴木小舟没後100年展	菰野町コミュニティ振興課
3月1日(金)～3月7日(木)	春の火災予防運動中の予防広報	菰野町消防本部

エ) 令和5年度図書館貸出等の状況

開館日数	292日	新規登録者	1,255人
貸出人数	120,087人	貸出冊数	374,610冊
購入冊数	5,142冊	受入冊数	3,475冊

登録者数、蔵書冊数及び購入冊数（令和6年3月31日現在、購入冊数は累計）

登録者数	40,721人	購入冊数	123,163冊
蔵書冊数	191,792冊	※蔵書冊数は、図書資料、AV資料、雑誌の総数	

オ) 研修等の受け入れ実績

①職場体験学習

受け入れ日	摘 要	参加者数
5月17日(水)・18日(木)	八風中学校	4名
6月6日(火)～8日(木)	桜中学校	4名
6月9日(金)	保々中学校	4名
6月13日(火)～15日(木)	三滝中学校	4名
9月12日(火)～13日(水)	西陵中学校	4名
9月20日(水)	菰野中学校	4名

②各種研修・視察

受け入れ日	摘 要	参加者数
7月26日(水) 28日(金)	鶯川原小学校教員社会体験研修	1名
8月3日(木) 4日(金)	菰野中学校教員社会体験研修	1名
8月24日(木) 25日(金)	朝上小学校 菰野中学校教諭社会体験研修	3名

③社会見学・施設見学

受け入れ日	摘 要
10月5日(木)	竹永小学校3年生社会見学
10月25日(水)	朝上小学校3年生社会見学
11月9日(木)	菰野小学校3年生社会見学

④小中学校図書室巡回

学校図書室	巡回	学校図書室	巡回
菰野町立菰野小学校	24回	菰野町立菰野中学校	19回
菰野町立鶴川原小学校	19回	菰野町立八風中学校	19回
菰野町立竹永小学校	20回		
菰野町立朝上小学校	21回	小学校 計	102回
菰野町立千種小学校	18回	中学校 計	38回

⑤ブックトーク訪問(学校授業支援)

実施日	対象学年	学校名
10月19日(木)・20日(金)	1年生	菰野町立菰野小学校
10月31日(火)・11月1日(水)	2年生	菰野町立菰野小学校
12月8日(金)	4年生	菰野町立千種小学校
12月13日(水)・14日(木)	4年生	菰野町立菰野小学校

⑥図書室オリエンテーション(学校授業支援)

支援日	対象学年	学校名
4月26日(水)・27日(木)・28日(金)	1年生	菰野町立菰野小学校
5月11日(木)		菰野町立竹永学校
5月12日(金)		菰野町立朝上小学校
5月12日(金)		菰野町立鶴川原小学校
5月10日(水)、16日(火)	2年生	菰野町立菰野小学校
4月20日(木)	3年生	菰野町立鶴川原小学校
4月20日(木)	4年生	菰野町立鶴川原小学校
5月17日(水)	4年生	菰野町立竹永小学校
5月2日(火)	5年生	菰野町立鶴川原小学校

⑦蔵書点検支援

支援日	学校名
7月26日(水)	菰野町立菰野小学校
7月27日(木)	菰野町立千種小学校
7月28日(金)	菰野町立竹永小学校
8月29日(火)	菰野町立鶴川原小学校
8月25日(金)	菰野町立八風中学校

⑧町内小中学校図書室巡回

学校図書室名	巡回	学校図書室名	巡回
菰野町立菰野小学校	19回	菰野町立菰野中学校	18回
菰野町立鶴川原小学校	21回	菰野町立八風中学校	18回
菰野町立竹永小学校	19回		
菰野町立朝上小学校	20回	小学校 計	99回
菰野町立千種小学校	20回	中学校 計	36回

⑨読書支援

支援日	対象学年	学校名
6月2日(金)	3年生	菰野町立鶴川原小学校

⑧その他支援

支援日	学校図書室	内容
8月2日(水)・9日(水)	菰野町立鶴川原小学校	図書室レイアウト変更
12月22日(金)・27日(水)・28日(木)	菰野町立千種小学校	図書室レイアウト変更

【評価と今後の方向】

図書資料の収集に努めてきた結果、蔵書冊数は19万1千冊となり、図書開架室の入場者数は開館16年間で延べ450万人を数えた。なお図書開架室に生涯学習室や催事室等を加えた館全体の年間入館者数は24万人を超える。

新型コロナウイルスの第5類移行により、昨年は参加を見合わせていた他機関主催のイベントに参加するとともに、当館単独でも新規小規模イベントを複数回開催したので、コロナ以前と比較し減少していた入館者数は増加傾向にある。

「第二次菰野町図書館整備基本計画」に基づき、図書館司書による学校図書館巡回支援を行っており、各種の支援活動を継続する。

図書館司書が学校図書館を巡回することで担当教諭や地域の図書ボランティアとの連携として『こもりぶサポーター』の協力を得ている。今後も図書室の環境整備や児童生徒の読書関心を高めるブックトークなど読書支援を継続する。

小学生6年生のみの『子ども司書』に加え、元子ども司書で現在は中高生の生徒に

よる『リトルライブラリアン』を組織化し、大人が読ませたい本ではなく自分たちが友達に教えた本の本の観点から情報提供やイベントの協力等、運営面の関わりも継続する。

休館は毎週月曜日と第四火曜日、年末年始、蔵書点検期間を休館日としているが祝日と重なる月曜日は開館している。

また、北部子育て支援センター窓口での図書貸出申し込みや返却本の受け取りは図書館遠隔地における図書館サービスとして継続して行い、利用につなげる。

引き続き図書資料の充実に努めるとともに、生涯学習拠点機能を活かした利用しやすい施設の運営に努める。

## IV 評価者の意見

### 1 教育委員会の運営

- ・教育予算の推移を見ると、令和5年度は教育費の割合が減っている。これは社会教育から文化及び文化財関係とスポーツ関係費が総務費に移行したためであろうが、教育費が全体の10%を確保できているかどうか、教育の水準を示す一つのバロメーターであると言われている。教育予算の確保に努めていただきたい。

### 2 学校教育事業

- ・「全国学力・学習状況調査」の分析結果から国語科の学力状況に経年的な課題が見られるということであるが、国語の読み取りの力が弱いと算数の文章問題が読み取れないなど、様々な部分に繋がってくる。小学校では特に国語科を研修主題にし、取り組んでいるところが多いようであるが、国語の力をつけていくために、わかる授業と授業改善研修に力をいれていく必要がある。また、力を入れて取り組んだ教科に良い結果が出て、他の教科がおろそかになってしまう場合もあり、バランスの取り方が大切である。
- ・学校としては答えがはっきりとしている算数の方が教師側も取り組みやすいが、国語はすべての教科の基礎になるものである。漢字などは反復学習で力が伸びるが、読解力や思考力を養うには、本を読むことが有効な手段である。本が好きで、自分でどんどん読み進めていけるような、読書習慣のある子どもをたくさん育ててほしい。読書量が必ずしも学力に直結するとは限らないが、テストの点数がとれることだけがよい訳ではなく、やはり読書習慣をつけることは大切である。
- ・不登校については年々増加する傾向にあり、どの自治体でも大きな問題となっている。もはや個々では対応できない問題であり、人間関係が希薄になっている現代では、人権教育や道徳教育などをしっかりと行っても、自分のこととして結びついていないのであろう。理想としてはわかっているが、学校での自分の居場所を見つけるだけで精一杯で、他人のことを見ている余裕など持てない現代の子には、人間関係の築き方のような具体的なことを、丁寧に教えていく必要があるのではないか。また、個々の乗り越えていける力を養う「レジリエンス教育」にもっと力を入れていく必要がある。
- ・不登校の場合、児童生徒本人だけでなく、その保護者も不安を抱えている。一人ひとりに寄り添っていける相談機関があることが大切である。それにより、例え学校へ卒業まで復帰できなかったとしても、相談できる場があることが保護者や本人の安心材料になる。また、高校進学を考えた場合、不登校が続き、出席日数が少なくなると不安が大きくなってしまいが、そればかりに捕らわれて焦る必要はないことや、本人のエネルギーが回復したら、次の道は色々あることを伝え、安心感を与えることが大切である。

- ・部活動の地域移行が始まっており、外部指導員の指導の下で、良い成績も出始め、良い傾向が見られる。スポーツは競技をすることがメインになるのだが、それだけでなく審判や救護体制など競技以外の部分についても、すべて自分たちで完結できるような体制を構築して行ってほしい。現在は、部活動を学校から離して地域に移行していく過渡期であるが、すべてを地域に押し付けるのではなく、地域と学校が連携していくことが必要である。

### 3 社会教育・図書館事業

- ・体育センターやグラウンド等の施設の老朽化が進んでおり、施設の整備に対する要望はよく耳にする。できる範囲で整備を行ってもらっているものの、要望に追い付いていない状況である。担当課と連携し、計画的に整備を進めて行ってほしい。
- ・図書の選定は需要と供給のバランスが大事で、多くの人を知りたい内容の本を取り揃えることが来館者数の増加に繋がる。人気のあるベストセラーのような本だけでなく、専門書も揃っていないと蔵書が充実しているとは言えないが、例えば旅行に関する書籍等はある程度期間が経過すると古くなり、求められている情報が提供できているとは言えなくなり、選定が難しいところもある。より一層魅力ある図書館をめざし、蔵書の選定に努めてほしい。ニーズに対応できていない部分はリクエストという形で提携している近隣市町から借用する方法や、町民が直接図書館へ購入希望をする方法などがあるとのことであるが、利用しやすい図書館をめざし、有効に予算を活用してほしい。
- ・大人の価値観で読ませたい本と子どもが読みたい本は違う。子ども自身が読んで良かった本や友だちにも進めたい本などを紹介することで、どんどん読書の輪が広がっていく。子どもたちの柔軟な視点も図書の選定には必要であり、リトルライブラリアンの活動をもっと充実したものにしてほしい。
- ・図書館には貴重な郷土資料などもたくさん保管されているが、整理が追い付いていない状況のようである。学芸員を活用し、そのような資料の保管整理をしっかりと行い、菰野町の大事な財産を守っていく必要がある。